経営協議会議事録
(令和6年度第4回)

令和6年11月27日(水)
13時00分から14時20分まで
法人本部3階 第一会議室

出席者

議長 玉手英利
委員 伊藤兵一 鈴木雅史 鈴木道子 谷口 功 西海和久 萩原なつ子
長谷川泉 横山広美
飯塚 博 出口 毅 根本建二 宮内健二 伊藤眞知子 額瀨 晃 土谷順彦

列席者

副学長 村山秀樹 大森 桂 コーエンズ久美子
監事 小屋 寛

欠席者

委員 吉村美栄子

議長から、本学経営協議会規程第6条第2項の会議開催要件を満たしている旨の報告があった。

- 1 経営協議会議事録(9月30日開催)の確認
玉手学長から、本会議事録(9月30日開催)について確認があり、議事録が了承された。
- 2 【協議】山形大学教育改革グランドデザイン2030について
出口理事から、山形大学教育改革グランドデザイン2030について審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に係る主な意見等は次のとおり。[委員からの主な意見等(○:意見・質問)]

○学内については、よく検討されていると思う。学外に対し、特に高校生にも分かるように、今後何が変わるのかが分かるようにご説明していくとよいのではないか。

- 3 【協議】令和6年度学内補正予算(案)について
根本理事から、令和6年度学内補正予算(案)について審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に係る主な意見等は次のとおり。[委員からの主な意見等(○:意見・質問)]

○質の向上や生産力を向上するためには、ダウンサイジングも必要なのではないか。ブラッシュアップしていくこと、止めること、そして伸ばしていくことを、現実を直視した上で一度整理していただきたい。

○人件費について、数を減らすか、単価を減らすかではないか。人事院勧告に従わない場合の罰則はあるのか。また、数を減らすような算段はしているのか。デジタル化が進んでいる中で、今の人数は本当に必要なのか。

→人事院勧告に準拠することは、優秀な教員を確保するためにも必要だと考えている。ST比など、目前の課題解決に向け、具体の検討をしている状況。

○国民の皆さんに現状を理解してもらい、政治の方とも一緒に活動していかないと現状は変わらないのではないか。必要性をご理解いただく働きかけを多くしていかないと、簡単には進まないと思う。覚悟を決めて、いろんなところでそのような活動をして欲しい。

- 4 【協議】国立大学法人山形大学役員給与規程等の一部改正について
宮内理事から、国立大学法人山形大学役員給与規程等の一部改正について審議願うものである旨説明があった。
次いで、玉手学長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

本件に係る主な意見等は次のとおり。[委員からの主な意見等（○：意見・質問）]

- 教職員や職員組合は、財務状況について、どの程度理解されているのか。また、理解してもらうような努力をしているのか。
→本学の財政状況を踏まえた対応であることを、改めて教育研究評議会等でもご説明していきたい。また、職員組合の方へも、本学の財政状況を示した上で、理解を求めるようにしている。
- 理解を得ながら下げていくことも考えないと、今後やっていけないのではないか。
→本学の現状を伝えたいので、理解をいただきたい。
- 学長の任期の中で、ある程度の見通しをもって引き継いでいただきたい。
- 構成員に状況を理解していただくことが非常に重要だと思うので、学長の口から、構成員にお話をする機会が必要なのではないかと。今もされていらっしゃるが、同じような規模間の学長とご相談し、特徴を生かしあいながら、スリム化していったらいいか。
- 各部局を回ることが重要だと思うので、財政の問題についても、学長が出向いて説明していきたい。また、他大学との連携も、具体なところでの検討を積極的に進めていきたい。

- 5 【報告】令和6年度収支状況（上半期）について
根本理事から、議題に関して、報告があった。

- 6 【報告】令和6年度資金運用状況（上半期）について
根本理事から、議題に関して、報告があった。

本件に係る主な意見等は次のとおり。[委員からの主な意見等（○：意見・質問）]

- 県との人材定着における協業についても、進めていただきたい。
- 関係各所と日頃から話し合う機会を作り、国立大学の必要性を理解していただくことが大事なのではないか。そういった仕組みを作り、産業界等、多くの方に入っていただければいいか。
- 以前はあったかと思うが、山形県と山形大学との人事交流は今もあるのか。
→今はない。

- 7 【報告】職員の懲戒について
宮内理事から、議題に関して、報告があった。

- 8 【その他】
飯塚理事及び村山副学長より、申請中のプログラムについて、報告があった。

次回は、令和7年1月27日（月）に開催することとなった。